

## パブリック・コメント及び審議会からの意見の概要

意見数（11人、1法人、58件）

意見の全部または一部を反映し案を修正したもの 4件

<p>収集運搬車両の集中について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 収集運搬車両が1ヵ所に集中することで、車両の渋滞、走行距離の増加によるCO2その他の排出量の増大等により、周辺環境が悪化しないよう配慮すること。</li> <li>➤ 収集運搬車両以外の持ち込み車両についても2倍以上になると考えられるため、待機用などの道路拡幅・道路整備についても検討すること。</li> </ul>
<p>広域化基本方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 両市の一般廃棄物処理基本計画はもとより、持続可能な開発目標であるSDGsの理念を踏まえ、持続可能な循環型社会の形成に配慮した処理システムを構築すること。</li> <li>➤ 安全を第一に、安定的かつ効率的な“ごみ処理広域化策”を確立すること。</li> <li>➤ 温暖化対策として、省エネルギー・再生可能エネルギーの積極的な導入を図ること。</li> </ul>
<p>災害対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 近年全国各地で発生している異常気象や大規模災害等に伴う施設停止リスクへの対策を講じるとともに、安定した共同処理体制を実現すること。</li> <li>➤ 防災拠点としての機能を念頭に置き、施設整備計画を検討すること。</li> <li>➤ 水害や地震等で被災した場合のごみ処理について検討しておくこと。</li> </ul>
<p>余熱利用構想について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ SDGsの理念を踏まえ、余熱を温浴施設や売電に利用するほか、周辺施設への熱供給を行うなど、廃棄物から得られる熱エネルギーの有効利用に努めること。</li> <li>➤ 余熱利用については、ごみ処理施設内外での利用にとどめるべきで、コストを踏まえた現実的な検討を行ってほしい。</li> </ul>
<p>地域貢献方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 環境学習機能の充実と市民啓発等の他、地域社会に貢献できる拠点施設として、市民参加により計画の検討を進めること。</li> <li>➤ 環境学習機能は、地域の実情に応じた内容を検討すること。</li> </ul>
<p>円滑な広域化の推進に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 分別ルールの見直しについては、今後も朝霞市との間で緊密な連携を図り、具体的な実施方法や市民への周知方法について協議・検討すること。</li> <li>➤ 建設予定地内にある旧焼却場で実施しているプラスチック類の中間処理等の代替案について早期に検討を行い、機能を確保すること。</li> <li>➤ 建設場所について、地域住民のコンセンサスをしっかり取り付けること。</li> </ul>

